

1.4 医療改革の推進

提出先 厚生労働省

【提案項目】

- 1 ICTを用いた医療情報の利活用の促進
- 2 WHO推奨ワクチンの定期接種化と財源の確保
- 3 難病対策の充実

【提案内容】

項目1 情報化には欠かせないICT（情報通信技術）の活用促進を図るため、基盤となる電子カルテの導入や機器の整備を行う医療提供施設への財政的支援や診療報酬加算を行うこと。また、医療分野の機微性の高い情報を扱うことに対する情報の利活用と保護に関する法整備を図ること。

項目2 予防接種は健康における安全保障であるため、WHOが推奨するワクチンのうち、まだ定期接種化されていないワクチンについて、早急に定期接種化を図ること。

さらに、風しんの流行の防止及び先天性風しん症候群の発生を防止するため、予防接種の重要性について国民への普及啓発に努め、定期予防接種の機会がなかった年齢層や予防接種を受けていない女性に対する必要な措置を講じるとともに、地方自治体が行う緊急対策に対し、財政措置を講じること。

項目3 現在、国が検討している難病対策の改革においては、法制化等の措置を講じ、医療費助成対象疾患の拡大など、難病患者に対する必要な支援が公平かつ公正に行われるようにするとともに、医療費助成における都道府県の超過負担を解消し、将来にわたり持続可能で安定的な仕組みとすること。

【提案理由】

本県では、「神奈川県医療のグランドデザイン」や「神奈川県保健医療計画」において、ICTを活用した医療・健康情報の共有化及び予防接種等の取組を位置付けている。

ICTを活用した医療・健康情報の共有化の取組を推進するため、基盤整備に対する財政的支援や安定的な運用体制を維持するための診療報酬加算が必要である。また、本県では、県民自らが自己の検査データや服薬歴等の医療情報を管理・活用する仕組みである「マイカルテ」の導入に取り組んでおり、将来的に集積した情報を統計的に分析し、新たな施策に結びつけることを目指しているが、そのためには、医療分野の機微性の高い情報の利活用と保護に関する法整備が必要である。

平成25年4月より子宮頸がん予防ワクチン、Hibワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種化された。しかし、VPD（ワクチンで防げる病気）の予防を更に推進するためには、未だに定期接種とされていないWHOが推奨するワクチンの定期接種化を一層進める必要がある。また、現在流行している風しんが、過去の定期予防接種制度上の問題に起因していることから、予防接種の重要性についての国民への普及啓発を一層進め、制度のはざ間で対象となっていなかった年齢層や予防接種を受けていない女性に対する必要な措置を講じるとともに、地方自治体が行う緊急対策に対しても、財政措置を講じる必要がある。

現在国では、難病対策について、①効果的な治療方法の開発と医療の質の向上、②公平・安定的な医療費助成の仕組みの構築、③国民の理解の促進と社会参加のための施策の充実の3つの柱で検討しており、13都道府県が、独自に医療費助成対象疾患を定めている中、国の医療費助成対象疾患（現行56疾患）の拡大を検討している。一方で、難病患者に対する医療費助成における都道府県の超過負担が年々増加し、地方財政を圧迫しており、このまま継続することが困難な状況になりつつある。国の平成25年度予算では、平成24年度の350億円を上回る440億円に増額されているが、解消には至っておらず、平成26年度予算に向けて、平成25年1月の総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣の三大臣合意に基づき、法制化その他必要な措置について調整を進め、財源を確保し、都道府県の超過負担を恒久的に解消する必要がある。

【県内医療機関における電子カルテ導入状況】

	病院 (26.38%)	診療所 (26.35%)	全体 (26.35%)
施設数	345	6,554	6,899
導入施設数	91	1,727	1,818

※ かながわ医療情報検索サービスよりデータ抽出
(平成24年11月現在)

【超過負担の状況】

(単位：千円)

	給付実績額 (A)	国庫補助 所要額(B)	国庫補助額 (C)	交付率 (C/B)	国庫不足額 【超過負担額】 (B-C)
平成22年度	6,224,985	3,114,223	1,576,443	50.62%	1,537,780
平成23年度	6,752,839	3,377,956	1,615,400	47.82%	1,762,556
平成24年度 (見込み)	7,282,240	3,641,728	2,052,014	56.35%	1,589,714

【独自助成対象疾患数別都道府県数】

対象疾患数	都道府県数
21疾患以上	1団体
11～20疾患	1団体
10疾患以下	11団体
合計	13団体

【独自助成対象疾患別対応都道府県数】

疾患名	都道府県数
進行性筋ジストロフィー	5団体
難治性ネフローゼ症候群	4団体
溶血性貧血	4団体
橋本病	4団体

(神奈川県担当課：保健福祉局医療課、健康危機管理課、保健予防課)